

ごみの収集・処理や大気・水質・騒音の常時監視など、市民生活の基盤となる業務を着実に実施するとともに、
「脱炭素」「循環経済」「自然共生」を一体的に推進します

脱炭素

「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」の目標達成に向け、家庭部門、業務部門、自動車部門を中心とした脱炭素化を進め、市役所自らが率先して取組みを推進

<主な取組み>

- 「Fukuoka ゼロカーボングート」開設による先進技術の誘導等
- 国産ペロブスカイト太陽電池の普及促進
- 脱炭素先行地域づくり



ペロブスカイト太陽電池

循環経済

持続可能な「循環のまち・ふくおか」の実現に向け、プラスチック、古紙、食品廃棄物を重点3品目と位置づけ、ごみ減量・リサイクルを推進

<主な取組み>

- プラスチック分別収集（令和9年2月開始）
- 古紙の出しやすい環境づくり
- 生ごみの減量・資源化
- 小型充電式電池・使用済小型電子機器の回収推進
- 資源物持ち去り防止対策



ごみの夜間収集

自然共生

豊かな環境を未来へ引き継ぐため、生物多様性の重要性の理解促進や、博多湾をはじめとした水辺環境の保全を推進

<主な取組み>

- 生物多様性の推進
- 「福岡市環境配慮指針」の改定
- 博多湾の栄養塩類のあり方検討



博多湾